



カメラ回しました、スタート!

Close up 2

こども映画教室@昭和村2022®

▼(上段・左から)撮影前に構図を確認、撮影してみた感想を語る、撮影者にインタビュー、真剣に行われた撮影(下段)参加した子どもたちとスタッフの皆さん

村内の小学生を対象に、10月8日から10日まで映画制作のワークショップが開かれました。参加した子どもたちが、お互いに協力しながら映画と向き合った3日間をダイジェストでお届けします。





01 準備
Introduction

02 撮影
Make a film

03 編集
Film editing

こども映画教室@昭和村2022[®]

School children work together to make a movie



04 上映
Screening



昭和村は魅力的な場所が多く、どこを切り取っても冒険している気分になると思い「歩く」をテーマに冒険映画を撮ってもらいました。子どもたちが、遊ぶように映画を撮っていく中で、今住んでいる場所の新たな一面を発見してくれたのではないのでしょうか。

Profile ふかた・たかゆき
昭和63年生まれ。映画『ある惑星の散文』が海外映画祭で高く評価され、国内外で注目を集めている。現在、最新作『ナナメのろうか』が公開中。

- 01 準備** 深田監督からレクチャーを受けた子どもたち。映画のテーマや機材の扱い方を学ぶ。
- 02 撮影** 3つのチームに分かれ、それぞれ生越、松ノ木平第二、村公民館の周辺に移動して撮影開始。
- 03 編集** 撮りためたムービーをつなぎ合わせ、ストーリーを完成させる。楽器を使ったBGMの録音から、上映会のためのポスターづくりに至るまでを手づくり。
- 04 上映** 子どもたちの家族や関係者を招いての上映会を開催。子どもたちは舞台あいさつのためステージへ。

参加した真下すみれさん（南小学校5年）は「見た人が面白いと感じてもらえるようなストーリーができた」と笑顔で話していました。

参加した村内の小学生15人はカメラやマイクなどの機材を手に3チームに分かれ、片品川の河川敷や二恵橋、生越地区や松ノ木平地区などで撮影を行いました。子どもたちは、映画のストーリーづくりから配役、撮影後の編集まで全てを行い約10分の映画が完成。上映会では大きな拍手と賛辞が送られました。

この映画制作ワークショップは、一般社団法人「こども映画教室」（土肥悦子代表の主催によるもので、土肥代表と村在住の林恭子さん（生越）との縁もあり開催が実現。長編映画「ある惑星の散文」などの作品がある深田隆之監督を特別講師に招き、スタッフ11人も制作を支えました。

参加した村内の小学生15人はカメラやマイクなどの機材を手に3チームに分かれ、片品川の河川敷や二恵橋、生越地区や松ノ木平地区などで撮影を行いました。子どもたちは、映画のストーリーづくりから配役、撮影後の編集まで全てを行い約10分の映画が完成。上映会では大きな拍手と賛辞が送られました。

映 面の楽しさを肌で感じてもらおうと、村で初の開催となる「こども映画教室@昭和村2022」が10月8日から3日間、村内で開かれました。